

祝御入学

なんりよう 南稜通信

第1号

平成25年

5月発行

長野南高校

問い合わせ先

教頭 大日方 博

庶務 小林 佳子

TEL026-284-8850

(学校代表)

TEL026-284-8851

(教務室)

新入生を迎えて

学校長 茶鍋 和統

春の訪れとともに、今年も二百名の新入生の皆さんを長野南高校に迎えることができました。厳しい学力検査に合格した向学心に燃える新入生です。高校では、中学校で学んだことを基礎として、さらに学力を身につけていくことになります。そして近い将来、社会的・職業的に自立していくことのできる人間となること、加えて社会の中で自分らしい生き方を実現できる力を持つた人となることを目指します。ただそのような人になるには、いくつかの困難を乗り越えなくてはなりません。ではどうすれば良いのか、それは、昔から人々が行ってきたこと、つまり「学びそして考える」ことです。ある人は「深く深く納得するまで考える、誰が何と言っても自分には分かったぞという思いに達するまで考える」、そしてそのことを経て「本質を捉える知、他者を感じる力、先頭に立つ勇氣を持った人になれ」と説いています。私もその通りだと思います。

本校では、新入生が「本質を捉える知、他者を感じる力、先頭に立つ勇氣」を身につけた人として成長することを願い、入学早々一泊二日のオリエンテーション合宿を行います。この合宿は、高校における勉強の意義や

その方法を学ぶことを目的として行われ、合宿中は勉強漬けとなります。また決められたスケジュールの中で、「集団の中の一員としての役割と責任を常に自覚しながら行動する」ということも学びます。これらの学びが高校生活三年間の礎になります。この合宿を経験して、新入生はようやく本校生徒の一員となるのです。

高校の三年間が大切なように、中学校の三年間も大切で、その大切な三年間が無に帰することのないよう、ここで「一粒の米」というお話を紹介します。江戸時代に新井白石という、学者であり政治家でもあった人がいました。社会科の授業で名前を聞いたことがあるかも知れません。彼の父新井正済は、白石が幼い頃に、戒めを込めてこんな話をしています。「一粒だけ米びつから米をとっても、減ったとはすぐには分からない。しかし、一年、二年と続けていくとやがては減ったことが分かってくる。反対に米を一粒ずつ加えても、すぐには増えたかどうか分からない。しかし一年、二年と続けていくと、やがては増えたかどうか分かってくる。学問もまた同じである。一日勉強したからすぐに利口になるわけではな

い。一日怠けたからすぐに愚かになるわけでもない。しかし、一年、二年と続けば必ず変わってくる」と言い、努力を重ねることの大切さ、そして努力をしないことの愚かさを説いたと言います。皆さんが学校で過ごす時間は三年間で、増えたか減ったか分かるには十分な時間だということになります。

中学生も高校生も未だ磨かれぬ路傍の石と同じです。しかし、日々の学習で少しずつ磨きをかけ続けていく、そして三年後には自分が何かを成し遂げている、そんなことを想像しながら学習に取り組んでみませんか。そうすれば、今は路傍の石であっても、やがては自



平成25年度 入学式

らの個性と才能が光り輝く宝の石となり、社会的・職業的に自立していくことのできる人間、そして社会の中で自分らしい生き方を実現できる力を持った人になると思います。中学生の皆さんも、高校生の皆さんも、ともに頑張つて欲しいと思います。

公開授業のお知らせ

期日 平成二十五年 五月二十五日(土)

日程 全日公開

一時限目 八時四十五分～九時三十五分

二時限目 九時四十五分～十時三十五分

三時限目 十時四十五分～十一時三十五分

四時限目 十二時三十五分～十三時二十五分

P T A 総会 十三時四十分～

一学年のスタートに当たって

一学年主任 玉井比知朗

今年も男子八十八名、女子百十二名の計二百名の生徒が新たに本校に入学してきました。前期選抜一・五倍、後期選抜一・一四倍という県下有数の高倍率を突破してきた新入生を迎え、我々担任団と致しましても、その責任の重さと使命の重大さをひしひしと感じております。

現代の日本社会は、昨年誕生した阿部政権によるアベノミクスと称される経済政策により、為替は極端な円高が是正されて、円安が進行、企業の業績も回復傾向にあり、あわせて株価も上昇を続けており、今後の日本経済に明るい兆しが見え始めております。しかし、依然として実体経済は二〇〇八年のリーマンショック以降、雇用も給与も大変厳しい状況に変わりはありません。このような厳しい現代社会を今後生き抜いていかなければならない生徒達は、しっかりと社会と向き合いつながりながら日々精進し、三年後の進路実現を果たさなければなりません。入学式から一ヶ月あまり、生徒達の様子を見ておりますと、とても元気で明るく生活しており、音楽の授業では教科担当より『今年の一年生はとても大きな声で歌っています』とお褒めの言葉もいただきました。反面、休み時間や昼休みなど、至るところでスマートフォンを使用している姿を見かけます。さらに、入部して早々に『退部したい』と申し出る生徒など、心配な面も多々あります。四月八日と九日のオリエンテーション学習合宿で今何をすべきか、何が大切なのかを学んだところですが、まだまだ、十分理解し実行するところまでいかないのが現実です。このような生徒達と真摯に向き合い、しっかりと指導して、強く逞しく、今の世の中を生きぬいていけるような人となりに導くべく、改めて『頑張らなくてはいけない』と強く思う今日この頃です。

高校生活の抱負

一年一組 桜井菜月

私が高校生活で頑張りたいことは、生徒会活動と部活動、そして勉強です。長野南高校ではたくさんの方に力を入れていて、私も積極的に取り組んでいきたいです。

生徒会活動では、中学校の時の経験を生かして自分から積極的に取り組み、貢献できるようにしていきたいです。

部活動では、まだ何部に入るかは迷っていますが、見学などをしっかりして、特に興味を持った部、自分が三年間継続できるものを選び、部活動でも自分から積極的に取り組んでいきたいです。

そして最後に勉強です。私には行きたい大学があるので、その大学に行ける学力を身につけられる様、授業など、真剣に取り組んでその大学に行けるように頑張りたいです。

これからの三年の高校生活、この気持ち忘れずに充実した三年間を送れる様、これ以上のことにも気を配り、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



4月1年学習合宿

新年度の抱負

生徒会副会長 山口晃平

皆さんこんにちは。僕たち生徒会は十月に先輩方から引継ぎをし、現在まで活動してきました。半年がたち生徒会活動にも慣れてきて、一人ひとりが何をやるのかを考えて行動できるようになってきました。

新年度を迎えて三年生となり、最高学年として長野南高校を引っ張ってきたいと思えます。そのためには前年度から続けてきた挨拶活動をさらに活性化し、全校生徒が積極的に挨拶をできるようにしたいです。さらに現在行っているコスモス長野さんへのボランティア活動だけでなく、もっとたくさんの方々と交流できることをやりたいです。

まだまだ頼りない生徒会ですが全校の皆さんあつての生徒会です。南校祭も近づいて来るので、皆さんの協力よろしくお願いします。



生徒総会 13.4.26

